



沖縄高専だより

National Institute of Technology, Okinawa College



目次

1. 校長より	2	8. 令和元年度 九州沖縄地区国立工業高等専門学校 体育大会結果一覧	13
2. 総務主事・教務主事あいさつ	3	9. 学生のコンテストなどへの出場報告	14
3. クラスの紹介または活動紹介	4～6	10. 地域の課題解決に取り組む	15
4. 学生会・寮生会より	7～8	11. オープンキャンパス・サマースクール実施報告	16
5. 教育福祉推進室・保健室より	9	12. 沖縄高専で活躍している卒業生	17～18
6. グローバル交流推進センター活動紹介	10～11	13. 令和元年度(後期)行事予定表	19
7. キャリア教育センター活動紹介	12	14. 高専祭に向けて	20





沖縄工業高等専門学校
校長 安藤 安則

校長の安藤です。保護者の皆さんをはじめ、後援会、沖縄高専産学連携協力会の皆様方には、平素より沖縄高専の教育、研究にご理解とご協力を頂き、深く感謝いたします。

さて、今年度の前学期を振り返りますと、九州沖縄地区国立高専競技大会で男子棒高跳び、男子テニス部と弓道部女子が全国大会進出を決め、また俳句コンテストで15名入賞、「高専ワイヤレスIoT技術実証コンテスト」で総務大臣賞獲得など、そして「トビタテ！留学Japan」で5名が採用されるなど、各分野において沖縄高専生の多くの活躍がありました。

ところで、世界的な経済動向をみますと、米国トランプ大統領の強硬な政策に基づく米中貿易戦争が安全保障や為替の分野まで拡大し、英国の新しい首相の登場が有りましたが合意なきEU離脱が現実性を帯び、また中国や北朝鮮による近隣諸国への脅威等は引き続き大きな懸念事項であり、日韓の歴史認識や経済連携の溝も深まり、先行き不透明感が強まり、注意深く見守ってゆく必要があります。

国内の経済状況を見ますと、米中の貿易戦争に端を発した前述の経済的減速の波が日本にも影を落とすつつあります。このような状況下において、民間企業は先行きが不透明な時こそ、専門的な素養に立脚しグローバルな視野を持ち、チームで成果を出せる人材の採用に注力していると聞いています。

沖縄高専は開学以来、人材育成と地域貢献を重要なミッションとして取り組んで参りました。国内外の大きな変化の下で、沖縄高専は、沖縄県出身者を中心に有能な学生を迎え入れ、航空技術者プログラムやサイバーセキュリティ人材育成等、特長ある工学教育を実践し、企業や大学・大学院等へ卒業生を送り出してゆく事を大きな目標としております。特に厳しい競争社会の中で強く生き抜ける人材育成を教職員一丸となって推進する所存でありますので、保護者の方は勿論、沖縄高専産学連携協力会等の関係各位の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

結びに、関係各位のご健勝とご発展を祈念しながら、本校の教育・研究にご理解を頂き、更なるご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶といたします。



「初心忘るべからず」

総務主事 田中 博

2011年4月、私は沖縄高専に合流しました。2019年8月、今こそ率先して「初心」を振り返ろうと考え、私が2010年の教員応募時に作成した志望理由書を開きました。

- ◆ リーダーとしての実践的技術者であれ、革新的研究者であれ、熱血ビジネスマンであれ、どのような“アウトプット”にも対応できる個性と基礎能力(エンジン)の開発・伸長が第一に重要で、様々なスキル(燃料)はこのベースに添加していく。
- ◆ 「努力を惜しまない」、「とことん突き詰める」、「新しいものを学ぶ」、「何でも受け入れる」、「逃げない」といったエンジン性能(姿勢)を身につけることが、技術力、思考術、語学や交渉術といった燃料(各種スキル)を添加するより前に必要。
- ◆ 教科書的な知識や表面的な経験だけでは、「プロセスイノベーション」と「プロダクトイノベーション」とを実現できる、真に実践性と創造性を兼ね備えた人材は生まれにくい。
- ◆ 一定期間、情熱を燃やしてがむしゃらに取り組むことにより「あきらめないこと」を学び、そのプロセスから自信をつかむ経験も、一時的な成功、失敗という結果に関らず、決定的に重要。
- ◆ 沖縄高専において「自ら思考し、リスクを取り、前進する、実践的なリーダーを育成する」ために、全力で取り組む。

「志望理由書」に書いたこれらのことは、実際に沖縄高専において自ら意識し、自分なりに行動してきましたが・・・、反省点(※)があります。

教職員の皆さん、それぞれの「志望理由書」でどんな「宣言」をされましたか？

保護者の皆さん、入学式の前後にどんな“期待”をされましたか？

学生の皆さん、入学時にはどんな“夢”を描きましたか？

高等教育機関として人材育成を担う沖縄高専には、学生を含め約千人もの人が集まっています。さらに保護者や地域の皆さんにも加わっていただくと、沖縄高専は数千もの人によって作られています。ひとり一人は立場も違えば役割も、関与の度合いも異なりますが、取り組む活動は「学生の成長を支援する(学生にとっては支援を受けて自ら成長する)」こと。表現は違って、しっかり「初心」に刻まれています。皆さん、それぞれに振り返ってみましょう！

一人の教員としてではなく、そして教職員だけでなく、保護者や学生も含めた数千人のチーム沖縄高専が取り組む人材育成は、「学生の成長を支援する(学生にとっては支援を受けて自ら成長する)」という共通の目的と具体的な行動とが「エンジン」です。目的を共有するチームで対話を進め、重ねて行けば、個々に考えて動くこと以上に沖縄高専の「エンジン」性能を引き上げます(※反省から生まれた確信)。保護者の皆さん、地域の皆さん、学生の皆さん、そして教職員の皆さんが対話するために、まず既存の場を活用し、また必要な機会を提供すべく取り組みます。「学生の成長を支援するための対話」に来て、会って、話して、そして一緒に動きましょう。



「教務主事から・・・」

教務主事 眞喜志 治

約2年前、校長をはじめとした当時の管理職の気の迷いで次期教務主事の候補にされ、明確な意思表示のないまま教務主事を務めさせられている「とある教員」の1年半を振り返り、先に繋がる話をしてみましょう。

1. これまで

「とある教員」の考える教務主事像を満たす教務主事にはこれまで出会ったことがなく、当然ながら「とある教員」に務まるはずがないと強く理解している役職の候補になるとは全くの予想外、想定外で、慎ましやかに教員生活を送りたいと願っている「とある教員」には甚だ迷惑な話でした。無理矢理とはいえ、辞令を手にしてしまったからには責任をもって務める覚悟でいましたが、トラブルだらけの問題だらけで、歴代の教務主事の偉大さを知ることとなりました。幸いにも、心ある教職員や元気の学生たちのサポートを得ることができ、複数の教員の反感を買いながらも、どうにか難局を乗り切ることができたのではないかと考えています(勘違いする方がいるので補足すると、問題は解決済み、とは言ってない(+o+))。

2. 今この時

教務主事という立場上、学校を良くするためにはどうあるべきか？、を日頃から考えている「とある教員」ですが、考えるほどに明るく思えることもあれば、虚しく思えることもあり、浮き沈みのある心境と付き合う毎日を過ごしています。こんなに小さな組織なのに、それぞれが個性を主張しては、まとまるものもまとまらないように思えてなりません。本校の理念は、外向けにだけ用意されたものではないはず!!。本校には、学校あるあるの問題に加え、本校固有の問題が存在していますが、それを加速させる教員の存在を否定できない現状にあっては、立場を問わず、全体の協力なくして学校を良い方向に向かわせることは難しいでしょう。そのことを理解し、協力を惜しまない教職員は徐々に増えてきていますが、光よりも闇が強いのは映画の中だけの話ではないので、それなりの覚悟が必要となるでしょう。こんな状況ですが、本校の広報活動に積極的に参加し、学校全体がより良い方向に向かうことに協力してくれる学生が複数存在していることは、眩いばかりの希望であり、気が付けば教務主事にされてしまった「とある教員」の活力になっています。酒飲みの「この一杯のために生きてる」みたいな感じでしょうか。

3. これから

学生を育て、自信をもって世に送り出すためには保護者の協力は不可欠だと考えています。学生の成長に関して、教職員のできることに、学生が努力すること、そして保護者ができることに、には重なる部分はあるものの、明確な役割分担があるはずで、誤解を恐れずに言えば、「高専に入学したから、寮に入れたから、あとはお任せ」は間違っていると現教務主事は考えています。教員は、学生を理解し、教育に真摯に向き合うことに邁進し、学生は、学ぶことを理解し、自身の成長に努力を惜しまず、保護者は、学生の成長を積極的に見守り、時には学校に意見する、という関係性を築くことにより、より良い教育を実践できる学校に進化できるものと信じています。それができるポテンシャルは、本校には確実に存在します。要は、本校に係る皆さん次第、ということです。

以上が、本人の納得のないまま教務主事となった、「とある教員」を通して見た本校の状況と将来展望ですが、あと半年で任を解いてもらえると思えば、『これから!』、に向けた努力は容易だろうと思う今日この頃です!(^^)!(追伸:教務主事を引き受ける、あるいはそれに準ずる言葉を発した記憶は体の中には見当たらず、よく利用するグラウンドの隅にも埋まっていませんでした(ToT))

クラスの紹介または活動紹介

1年生



山下 冬偉

メディア情報工学科
読谷中学校出身

1年1組の山下冬偉です。1年1組は41名在籍しており、毎朝ちゃんと登校する学生もいれば、ときどき遅刻する学生もいます。他にも、授業中寝ていてもテストでは良い点数をとるような学生もいれば、点数が悪いのに寝ている学生もいます。5月の体育祭では、みんなと一致団結して楽しむことが出来ました。高学年の先輩には負けてしまいましたけど。まだ経験したことはありませんが、10月に高専祭があります。僕たち1年1組は屋台をやるので、皆さんも是非遊びに来てください。

最後に、中学生の皆さんにアドバイスがあります。沖縄高専には、WiFiがあるのですが、強力な規制がかかっているのので、勉強面以外では、使い物になりません。なので、ギガは大容量プランをお勧めします。

ロボットや生物学、パソコンに興味がある中学生は、ぜひ沖縄高専に来てください。



喜屋武 春萌

生物資源工学科
沖縄東中学校出身

1年2組は、とても活発なクラスで男女ともに仲が良いクラスです。高専は男子学生が多く、女子学生が非常に少ないですが、女子学生も活躍できる場面がとても多くあります。私たちのクラスでは、男女活発に話し合いができ、様々なイベントの時には楽しそうに話し合いを行います。授業中はとても静かで、真面目に授業を受けています。また、学科が違う人との交流も盛んで学科での壁がなくみんなで協力できるクラスです。

はじめは、ぎこちない挨拶から始まったクラスですが、今ではなんでも言い合える仲になりました。私たちのクラスの子は、困ることがあったらお互いに声を掛け合うようになっています。スポーツ実技の授業の時はみんな動くことが好きなので、ワイワイスポーツを楽しみます。

とにかく、1年2組は何事にも積極的でなんでも楽しく行うクラスです！



神谷 厚斗

機械システム工学科
松城中学校出身

私達1年3組は、計40名で色々な人がいる個性的なクラスです。最初はみんな知らない人だったので、あまり積極的になれませんでした。でも、自己紹介や、毎日の授業を受けていくうちにそれぞれの事について知ることができクラスの仲が深まっていきました。特に授業では、一人一人が真剣に取り組んでいて、わからないところは先生に聞いたり、友達で教えあったりしています。その成果が出たのが中間試験だと思います。中間試験では、クラスの平均がほとんどの科目で学年平均を上回っていました。これは毎日の授業での努力が出ていると思いました。また、部活や同好会、委員会に所属している人も多く、積極的に色々な行事や活動に参加している人も多いです。

これからもクラスのみんで協力してたくさん思い出を作っていきたいです。



中村 英誠

機械システム工学科
三和中学校出身

こんにちは

1年4組機械システム工学科の中村英誠です。

私たち1年4組は、とても賑やかなクラスです。賑やかなのは、いいことですが、たまに賑やかを超えてうるさくなってしまうことがあります。

担任の森田先生がいない時でも真面目に頑張っています。

楽しむときはしっかり楽しむ、真面目に取り組むときはしっかり真面目に取り組むことができるクラスです。

体育祭や、高専祭の役員、高専祭のクラス企画を決めるための話し合いも担任を頼らずに級長を中心に自分たちでおこないました。

4月に入学してきてやっと沖縄高専に慣れてきましたが、高専に入学した時は、初めましての人が多くみんな仲良くしていました。クラスみんなが、クラスみんなのことを考えているクラスです。



備瀬 己智

メディア情報工学科
古堅中学校出身

2年1組の備瀬己智です。ここでは私の所属するクラスと部活について紹介します。

私の所属する2年1組はノリのいいクラスで、先生の話膨らませて授業を脱線させる常習犯たちが集まっています。

担任の山本先生はウクレレの名人で、稀に授業中に寝ている学生がいるとウクレレの音色で起こしてくれます。他にも、学生をニックネームで呼んだりなど、学生との距離が近い先生です。

2年1組の学級目標は「とりあえず進級」「学校にくる」「みんな仲良く」の三つです。どれも大事なことです。普通を嫌うひねくれた高専生らしさがよく伝わると思います。

次に私の所属する部活の紹介をします。私はICT委員会という、主にアプリやゲームなどを作る部活に所属しています。授業でのプログラミングなどの知識を活かして例年多数の大会に出場し、たくさん受賞していますが、大会の有無に限らず個人での創作なども活発です。

常に新しいものを生み出そうとしている人たちが集まっている中で技術を磨くことができ、とても楽しく活動しています。

以上のような環境で私は毎日刺激にあふれた充実した学校生活を送っています。夏休みが明けた後期にはと高専祭やプログラミングコンテストなどがあり、忙しくもなりますが、毎日楽しく過ごしていきたいと思っています。



上藤 綾乃

情報通信システム工学科
城北中学校出身

情報通信システム工学科2年生です。5月に行われた体育祭で、私たちのクラスは素晴らしいチームワークを発揮して、見事準優勝を勝ち取ることができました！また、体育祭の打ち上げでは、担任が大阪出身だったのでクラス全員でたこ焼きパーティを行いました。タコ以外にもいろいろな具材を使って変わり種のたこ焼きを作りました。とても楽しく、さらに仲を深めることができました。みんなで協力しながら、進級できるように頑張っていきたいです。



高江洲 光汰

情報通信システム工学科
嘉数中学校出身

情報通信システム工学科2年の高江洲光汰です。新学期最初のロングホームルームを使ってみんなでゲームをやった際に、担任からリーダーシップを見込まれて3組の級長を任されることになりました。2年生は、入ったばかりの初々しさ、学年全体での大きなイベント(3年生の研修旅行や4年生のインターンシップなど)がない学年です。また、1年生のときとは比べ物にならないぐらいに課題やレポートの提出が多くなってきます。さらに普通の高校が夏休みに入った時期に試験勉強をしなければならず、大変なことが多いです。ですが担任が担当する線形代数が一番楽しいです！後期には高専祭もあるので、みんなが楽しいクラスになるように協力していきたいです。



岡田 あさ陽

生物資源工学科
港川中学校出身

高専ではほかの高校と違って、専門的な知識を深めることのできる環境が整っています。

また、似たような志をもつ友人が多くできるので、充実した寮生活を送ることが可能です。

私は、生物資源工学科に所属しており、生物の知識を深めていますが、わからないところは先生方に聞いたりするととても分かりやすく解説してくれます。

さらにICT委員会などに所属すると、わからないことがあっても技術をもった先輩方が基礎から優しく教えてくれるので、普段パソコンを使うことが少ない生物生もプログラミングの技術や知識を身に付けることができ、これからの活動に幅が出てきます。

また、2年生までは4学科混合のクラス編成なので、ほかの学科の生徒とも仲良くなるのが可能です。私は現在2年生で4組の級長をしていますが、話し合い活動の時には、クラスのみならずとも助けられています。高専は各学校行事を学生が主体となって行うので、クラスでの話し合いがとても重要になってきます。細かいところまで話し合いを行っておくことが資料をまとめる際にもとても助かります。





新崎 広人

機械システム工学科
神原中学校出身

こんにちは、3年機械システム工学科の新崎広人です。

僕は今、武村先生の研究室で、頼もしいメンバーと一緒に創造研究を行っています。研究テーマは自由で、発案、必要な材料の調達、部品の加工など、全て自分たちで行います。途中で問題が発生してなかなか解決しないこともありますが、その度にトライ＆エラーを繰り返して問題を解決していくのがとても楽しいです。

先日は高専のオープンキャンパスで、創造研究メンバーで工作教室を行いました。作り方や教え方を工夫して、実際に子供たちが楽しんでいる様子を見てとてもやりがいを感じました。

今僕たちが取り組んでいる研究は、コイルと磁石を使ったソレノイドエンジンの製作です。課題が山積みですが、一つ一つ解決して完成に近づけたいと思います。



金城 伶奈

メディア情報工学科
越來中学校出身

メディア情報工学科3年の金城伶奈です。私達のクラスは男子38名、女子16名の計54名です。このクラスでは、テスト前になるとクラス内で放課後に勉強会が行われています。そこでは、分からないところを互いに教え合い情報を共有し合いながらテスト勉強に励んでいます。

また、親睦を深めるためにクラス会も行いました。1回目のクラス会では担任の鈴木先生の地元、広島郷土料理である広島焼きを作りました。広島焼きは好み焼きとは違って焼きそばや卵等も入れるためひっくり返すのが難しかったですが上手くひっくり返るととても盛り上がりました。2回目のクラス会ではテストお疲れ様ということでお茶会を行いました。一部の寮生が居室の掃除を行わなければならなかったため残念ながら参加人数は多くありませんでした。私もその一人のため参加出来ませんでした。参加した人の話では、色々な話をして盛り上がったそうです。

後期には10月に高専祭、12月には研修旅行が待っています。クラスでの連携が必要不可欠になってくると思うのでクラスの仲をより深めていけたらと思います。



安山 千鶴

情報通信システム工学科
伊良波中学校出身

こんにちは、情報通信システム工学科3年の安山千鶴です。

今年は1、2年生のときの混合クラスとは異なり初めての学科別クラスで戸惑う部分もたくさんありましたが無事何事もなく3年生の前期を終えることができました。モンゴルからの留学生も迎え、計45名の個性あふれる仲間たちとの半年間はとても濃く充実していたと思います。7月には学校の近くの海でバーベキューやレクを行いました。級長や担任の先生方のおかげで楽しい1日になりクラスの仲もより一層深めることができました。また学生会主催のスポーツフェスタでは出場メンバーそして応援組が一致団結し3位を取ることができ、大いに盛り上がることができました。そして夏休み前の大イベントといえば期末試験があります。11科目以上あるテストをそれぞれの得意分野、苦手分野をお互いがカバーしあいながらなんとか乗り切っています。この45人で卒業まで切磋琢磨しあいながら進んでいくことを目標に頑張っていきたいと思います。12月には待ちに待った研修旅行があり、みんながとても楽しみにしています。

私たち3年情報のクラスには寮や学生会、高専祭実行委員の役員がたくさんいるので、私たちを中心に沖縄高専全体を盛り上げていけるよう頑張っていきたいです。



富永 万結実、新垣 凜

生物資源工学科
石垣第二中学校出身、名護中学校出身

こんにちは。三年生物資源工学科の富永万結実です。三年生では、一般科目より専門科目が多くなります。専門の授業でグループワークなどを行うことで今までよりもクラス内で助け合う機会が増え、学年が上がるとともにクラスの雰囲気も良くなっています。一人一人が自分の課題を見つけ、達成するために日々努力しています。私は今年、創造研究で高学年の先輩の研究と一緒に参加させていただくという形で、沖縄県産植物の抗酸化作用について学ばせていただいています。今は一年生の頃と比べて、普段学習している内容が創造研究に生きていると感じる機会が増えたため、学ぶことの楽しさを実感しています。卒業研究に向けて、これからも頑張っていきたいです。

こんにちは。同じく三年生物の新垣凜です。私は今年、基礎学習も大事にしつつ、部活動に力を入れています。高専では五年という長い期間、勉強だけではなく、自由に部活動も楽しめます。沖縄高専には沖縄では数少ない弓道場があり、私は弓道部として練習に励んでいます。中学までとは違い学生中心に活動を進めていくので大変なことも多いですが、他の部と協力しながら頑張っています。勉学と部活動の両立を目指しながら、日々の学校生活を楽しくしていきたいです。

学生会より

令和元年度の学生会長を務めさせていただきます、メディア情報工学科4年の真志喜蒼麻です。

学生会では、楽しいイベントの企画・運営をはじめとし、校内風紀の改善や広報活動などを学生主体で行っています。特に今年度力を入れたいと思っていることは、学生会の活動をいろいろな人に知ってもらうことです。後学期より学生会公式のSNSアカウント・webサイトを開設予定です。ぜひ私たちの活動を見て、応援していただければと思います。一年間、宜しくお願い致します。



令和元年度学生会長
メディア情報工学科4年
真志喜 蒼麻

体育祭



部活動紹介



寮生会より



4月 懇談会



7月 夏の涼祭



4月 春の遠足



8月 ドッチボール大会

こんにちは。
今年度の寮生会は昨年度には
なかった新しいイベントを積極的に
取り入れていきたいと思っています。
寮生会一同これからも頑張ってい
きますのでよろしくおねがいします。



教育福祉推進室より



この4月から教育福祉推進室の室長を務めることとなり、推進室で取り扱う問題の難しさを痛感しながら、その質・量ともに、数年前と大きく変化していることに気づかされます。

推進室では、学生の健康及び環境上の問題の改善についての支援・予防に関する様々なことを実施しております。前期は、低学年に対して「カウンセリング講話」「性に関する講演」を実施し、その他に全学生対象にアンケート調査を実施いたしました。本校では、臨床心理士の資格を持つ2名のカウンセラーが、授業期間中の平日は毎日交代で勤務しており、今年1月からは、寮の方にも、保健師の方を週4日相談員として配置しております。多くの学生が利用しておりますが、保護者の方がご自分のお子さんに関して相談していただくこともできます。ご利用の際は、保健室（電話：0980-55-4054、電子メール：hoken@okinawa-ct.ac.jp）にお問い合わせください。

長期休暇中も変則実施になりますが、カウンセリングを実施いたします。



教育福祉推進室長
兼城 千波

保健室より

元号が令和となり4ヶ月ほど経ちます。保健室には頭痛や腹痛などを訴えての来室が多く、原因は様々です。軽い症状ですむ場合もありますが、突然の症状、今まで経験したことがない、回数と程度が増していくなどがあれば医療機関を受診しましょう。又、睡眠不足で体調不良と訴えることも少なくありません。夜更かし、朝寝坊が生活習慣の乱れとなり、寝不足の原因、体調不良とになっているかもしれません。日頃から生活習慣を意識し体調を整えましょう。

保健室は、メディア棟2階にあり、健康相談、心の相談や身長・体重測定、体温や血圧も測ることが出来ますので足を運んでみてください。又、保健室の隣にカウンセリングルームがあり、カウンセラーが時間指定ですが在室しています。話をしたいと思ったら、予約の窓口が保健室になっていますので連絡ください。

4月に学生定期健康診断を終えていますが、紹介状が同封されていてまだ医療機関を受診していない場合は、夏季休講中に必ず受診し、受診結果を保健室まで提出又は報告ください。又、健診結果について医療機関を受診した方が良いか悩んだ場合は保健室までご相談ください。

【連絡先】 電話：0980-55-4054（保健室直通）、E-mail：hoken@okinawa-ct.ac.jp
看護師：高江洲、安里



グローバル交流推進センターの 活動紹介

グローバル交流推進センター長
星野 恵里子

沖縄高専のグローバル交流推進センターは、グローバル社会と言われる現代社会に広く貢献できる人材を育成するために、海外の研究者・留学生の受け入れに関する事業の実施をすることで、グローバル交流の連携を推進するために設立されました。

2019年度の学生交流の一つの事業である、「タイ・バンコクにおける学生交流Ⅱ」を紹介します。8月31日深夜に出発し、9月14日早朝に帰国するまで約2週間をタイのバンコクで過ごします。滞在するのはKing Mongkut's University of Technology North Bangkok (KMUTNB) です。本年度は9名の学生が参加しました。沖縄高専からは、情報通信システム工学科2名、メディア情報工学科2名、生物資源工学科3名の合計7名、熊本高専八代キャンパスからは、建築社会デザイン工学科の学生2名の参加になりました。前半は英語研修が中心となり、キャンパスツアーやナイトクルージングといったレクリエーションも含まれました。後半はそれぞれの専門に即した講義や実験を体験し、最後にはそれぞれの成果をプレゼンテーションしました。また、KMUTNBの学生と交流の場も設けられており、より立体的な学生交流ができたのではないのでしょうか。参加者はこの取り組みをきっかけに、自分の研究をグローバルな視点からとらえたり、さらにはこの学生交流をきっかけに、より本格的な留学を目指したりしています。今後はより多くの学生がより積極的に、このようなプロジェクトに参加することが望まれます。

2019 Students Exchange Programme II in Thailand 31st August-14th September (15 days)

Day	Date	Week	Schedule
1	31 Aug.	Sat	Departure from Okinawa at 21:45. (Peach aviation)
2	1 Sep.	Sun	Arrive in BKK at 00:15. Move to guesthouse. Daytime.: See around at Khaosan.
3	2 Sep.	Mon	Move to KMUTNB Check in the dormitory.
4	3 Sep.	Tue	Opening ceremony, Orientation and Tour of KMUTNB
5	4 Sep.	Wed	English lecture, experiment and activity.
6	5 Sep.	Thu	English lecture, experiment and activity.
7	6 Sep.	Fri	English lecture, experiment and activity. At night, night cruising on Chao Phraya River.
8	7 Sep.	Sat	Free time
9	8 Sep.	Sun	Free time
10	9 Sep.	Mon	Lecture, experiment and activity
11	10 Sep.	Tue	Lecture, experiment and activity
12	11 Sep.	Wed	Lecture, experiment and activity
13	12 Sep.	Thu	Presentation and student exchange.
14	13 Sep.	Fri	Leave KMUTNB at 10:00. After noon: Free time in BKK city.
15	14 Sep.	Sat	Departure from BKK at 01:25 (Peach aviation). Arrive in Naha at 08:00.

トビタテ！留学 Japan

今回トビタテ！留学 Japan 高校生コース 5 期生として採用された、2 年生物資源工学科 中村仁俊です。自分はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴへ約 2 か月留学に行きます。

自分が留学を決めたのは、今までにいくつかの学会に見学や参加などしてきましたが、ほとんどが同時翻訳などを使った英語でのスピーチばかりでした。

また、今年の 3 月に行われたシンガポールとの学生との交流キャンプで自分の語学力のなさを知りとても悔しい思いをしました。それらを受け自分は、これから研究者として勉強するためにも英語は必要不可欠なスキルだと思い、今回留学を決めました。

今回の留学では、現地高校で実際に授業に参加しながらホームステイをすることで長時間英語に浸ることが出来るため可能な限り語学力を付けてきます。それ以外にも、休日には科学館や博物館などに行き異文化理解などもしていきたいと考えています。

また、今回のトビタテ！留学 Japan への申請や手続きなどにご協力いただいた両親、先生方、事務の方々、同級生、先輩方へ本当にありがとうございました。



生物資源工学科 2 年生
中村 仁俊

県費留学を終えて

私は 3 年次に国際性に富む人材育成留学事業でアメリカのカンザス州に約 9 ヶ月間派遣されました。留学に応募した当初の動機は、英語力を涵養することで“グローバルに活躍できるエンジニア”への第一歩を踏み出したいとの強い気持ちからでした。しかし、留学期間を通して私が感じ続けたことは『果たして本当に自分になりたい姿は“エンジニア”なのか。』ということでした。現地で言語や文化の壁がある中、自分の表現で日本や沖縄などのことを理解してもらえた時に、物事を発信する仕事に従事したいという思いが強くなりました。アメリカで過ごした 9 か月間は英語の上達や国際的な視野を広げることができただけでなく、自分自身と十分に向き合せて内面の成長に繋がる貴重な時間だったと思います。もちろん高専での勉学に集中することは非常に重要ですが、学外の活動や課外活動に挑戦することで普通の学生生活を送るだけでは得られない多くの収穫があります。皆さんも普段とは異なる環境に飛び込み、様々なことに挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。



情報通信システム工学科 4 年生
前田 凌雅



WSB(World Students Bridge) の活動

グローバル交流推進センターは学生主体の国際交流委員会、通称ワサビと協同し、沖縄高専のグローバル活動を行っています。留学生との交流会やハロウィンイベントなど、様々な取り組みを通して、留学生と日本人学生とのお互いの母国文化を紹介しあう事で、グローバル意識を高めています。

2019 年度の最初の取り組みは、留学生を招いてのそうめんパーティーでした。その様子は部長である照屋梨紗さん（生物資源工学科 4 年）が以下のようにまとめました。

冷やしそうめん

タイやモンゴルの留学生を招待して、そうめんやお菓子を食べながら、みんなで楽しくお話ししたりできる交流会を行った。

この交流会により異文化に触れたり、身近に英語を聞いたり使ったりすることにより、とてもいい刺激になり成長につながるようなイベント実施ができた。

国際交流委員会 (WSB)

活動日：火曜日

活動時間：17:00 ~ 19:00

活動場所：レストラン横の和室

活動内容：国際交流委員会、通称 WSB (ワサビ) は、留学生の人達と交流を行ったり、またその為のイベントの考案・企画などを行っています。



キャリア教育センターの取り組み 低学年からのキャリア教育について



キャリア教育センター長
津村 卓也

キャリア教育センターでは、学生のキャリア形成のための教育と学生や卒業生の進学・就職など進路決定活動の支援を目的として、教職員だけでなく多くの企業・団体の方や卒業生などにもご協力を頂きながら、キャリア教育プランに則って各学年に対応したキャリア教育と進路支援を行っております。

低学年からのキャリア教育について、1学年は【自立・自律の姿勢を身につける】、2学年は【自己と社会との関わりについて考える】、3学年は【将来計画に基づき、具体的な行動方針を決める】のキャリア教育プランに対応する形で、昨年度はワークショップ・講演会・講話などをそれぞれ行いました。

1学年では、講演会『遠くに見える将来を見据えて 今、この瞬間を糧とする考え』を開催しました。「自分事として“今”を考える」「自分を肯定的に理解し、受け入れる」「自分にとって主体的な毎日とは？を考えるキッカケにする」という3つのテーマが取り上げられ、学生たちは、“好奇心・謙虚さ・遊び心・計画性”の4つのスケールでの自己評価や、“経験のない若者の強み”などを考えるワークシートに書き込みながら考えを深める時間をもちました。

2学年では、講演会『2年生のためのキャリアガイダンス』を開催しました。学生たちは、経験談を交えた様々な角度からの講演を聞き、卒業までの年次計画書と将来像を実際に整理してみるワークシートに取り組み、自分たちの未来について具体的にイメージづくりをするきっかけをもちました。また各専門学科の上級生や卒業生を講師とした『学科別キャリア講演会』を開催しました。リアルな経験談を中心に、「卒業までの道のり」「今やっておくべきこと」「こうした可能性がある」といった内容が展開され、学生たちは、同じ沖縄高専の課程を学んできた先輩たちの言葉に熱心に耳を傾け、新たな視野を得る機会をもちました。

3学年では、『コミュニケーション研修』『履歴書の書き方講座』『研修旅行での企業見学』『企業技術者講演会』『自己分析講座』などを開催しました。これらを通じて、各学科の専門性を意識した実践的な知識を習得し、将来計画に基づいた具体的な行動方針を決める機会をもちました。

4学年は【社会人マナーを理解し、実践できるようにする】【インターンシップで企業内容と、求める人材について理解する】というキャリア教育プランの下、ワークショップ・講演会・講話などをそれぞれ行いました。まず『ビジネスマナー講習』『メイクアップ講座』を開催し、学生たちは身だしなみや挨拶の仕方などのビジネスマナー、身だしなみとしてのビジネスメイクアップの方法について学びました。また学生たちは『自己分析セミナー』を受講し、夏季休業期間に企業などで『インターンシップ』に参加しました。さらに学生たちは『インターンシップ発表会』『自己分析講座』『業界研究会』を通して、社会で期待される人材像の理解を深め、社会人マナーを理解し実践する機会を得ました。

5学年は【就職・進学に向けた努力】【社会に出るための知識を身に付ける】、また専攻科は【専門性を生かした社会進出を目指す】というキャリア教育プランの下、『企業による業界研究会』、『企業説明会や大学による進学説明会』などを開催しました。学生たちは、これまでのキャリア教育を通じて経験し学んだことも活かしつつ、自分の進路を決定していました。

他には、キャリア教育センター室に相談窓口を設け、専任のキャリアアドバイザーが、学生の疑問や相談への対応・個別の採用面接練習・エントリーシートの記入内容指導などを行っています。この相談窓口は、本校卒業生や保護者からの相談も受け付けております。

これらの活動は、単に進路を決定するための情報提供・支援だけでなく、自分自身を分析して理解し、社会を知り、業界・業種・職種などを理解したうえで将来どのような道に進みたいのかをじっくりと考え、「自分の進路を自分で決定できる能力」を養うことを目的としています。



1年生：キャリア講演会の様子



4年生：メイクアップ講座の様子



4年生：ビジネスマナー講習の様子



4年生：自己分析セミナーの様子

令和元年度 九州沖縄地区高等専門学校体育大会結果一覧

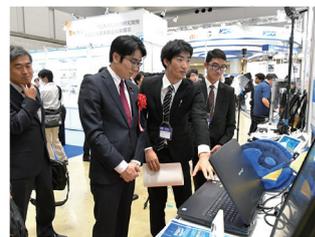
令和元年度九州沖縄地区高等専門学校体育大会における本校の競技別の結果は以下のとおりでした。
会場まで応援に来ていただいた保護者並びに関係者の皆様に感謝いたします。

競技種目	競技結果	備考
テニス（男子）	【団体戦】2回戦敗退 【個人戦シングルス】新垣朝啓（準優勝）、玉城晃太、真志喜蒼麻、喜友名啓佳 【個人戦ダブルス】根路銘詠一・比嘉祥吾、玉城晃太・新垣朝啓、真志喜蒼麻・高江怜臣、喜友名啓佳・村田芳光	【全国大会出場】 男子シングルス 新垣朝啓
テニス（女子）	【団体戦】初戦敗退 【個人戦シングルス】喜納綾夏、相川紗英 【個人戦ダブルス】喜納綾夏・相川紗英（3位）	
男子バスケットボール	予選リーグ敗退（沖縄30 - 108北九州）（沖縄73-42熊本） 高良貴一、島袋隆也、百名泰成、大城凱、福井慶次、新垣青空、赤嶺響紀、我謝佑太、比嘉稜、金城堅尚、渡久地輝、喜屋武泰、宮城大青、大城竜雅、比嘉将之	
女子バスケットボール	予選リーグ敗退（沖縄40-62有明）（沖縄40-29鹿児島） 玉城早也佳、香村真衣、翁長舞、比嘉菜緒、松田奈美、金城恵、幸地芽、比嘉花、狩俣美菜津、赤嶺季映	
バドミントン男子	【団体戦】初戦敗退 【シングルス】初戦敗退 與那嶺侑也、野里怜生、宮平泰良、小渡いさぎ、小浜広翔 【ダブルス】宮平泰良・野里怜生（初戦敗退）、小浜広翔・小渡いさぎ（2回戦敗退）	
バドミントン女子	【団体戦】初戦敗退 【シングルス】金城怜奈（ベスト4）、田下志真（初戦敗退）、上原彩来（初戦敗退） 【ダブルス】當間奈央・浅野光咲（2回戦敗退）、石原さき・富永万結実（初戦敗退）	
ハンドボール男子	3位 岡野祥希、大城太志、内間零斗、金城涉、大田勝斗、知念賢生、比嘉駿、金城学人、北菌凜気、新里陸月	
ハンドボール女子	田代風花、喜屋武春萌、大宜見玲、石原花夏、城間涼子、比屋定亜香、大兼久里葉、稲嶺百華、兼本彩加	
卓球部（男子）	【個人戦シングルス】（初戦敗退）上地泰慧、大西渡、ポロル・エルデネ、国頭知真 【個人戦ダブルス】（初戦敗退）上地泰慧・大西渡、ポロル・エルデネ・国頭知真	
硬式野球	初戦敗退 上原達也、銘苺海星、當山裕己、比嘉諒人、仲間功太、奥濱翔平、與那嶺秀也、大城武斗、金城輝、狩俣龍之介、田中颯汰龍、仲兼久春輝	
水泳（男子）	【50m自由形】山川創大（決勝7位）、上原龍馬（予選14位） 【100m自由形】宮里佳明（決勝3位）、山川創大（決勝7位） 【100m背泳ぎ】與久田航（予選14位） 【200mバタフライ】宮里佳明（決勝3位） 【200m個人メドレー】新垣友一朗（決勝7位） 【400m自由形】小波津貴矢（決勝8位） 【800m自由形】上原龍馬（決勝4位） 【4×100mメドレーリレー】與久田航、新垣友一朗、宮里佳明、山川創大（決勝8位） 【4×100mリレー】山川創大、新垣友一朗、上原龍馬、宮里佳明（決勝6位）	【全国大会出場】 学内行事（期末試験） のため辞退 100m自由形、 200mバタフライ： 宮里佳明
水泳（女子）	【50m自由形】知念優奈（決勝4位）、仲村玲奈（決勝6位） 【100m平泳ぎ】知念優奈（決勝3位） 【4×50mメドレーリレー】芥川理子、仲村玲奈、知念優奈、金城美南（決勝4位） 【4×50mリレー】芥川理子、仲村玲奈、知念優奈、金城美南（決勝5位）	
弓道	【男子団体】久場恒和、久場悠誠、金城宏季、宇地泊源、城島拓弥 【女子団体】新垣凜、嘉数万里奈、安慶名瑚 【女子個人】5位 新垣凜	【全国大会出場】 女子個人：新垣凜
陸上	【男子棒高跳び】1位 兼城凜多 【女子100m】5位 糸数万里奈 【男子400mH】7位 田中颯汰龍 【女子4×100mR】5位 前野愛理、坂本愛里、佐々木花菜、糸数万里奈	【全国大会出場】 男子棒高跳び 兼城凜多
剣道	初戦敗退 大城翼	

IoT コンテストに取り組んで

創造システム工学専攻 電子通信システム工学コース1年 杉田 太一

私達チーム NGM(Next Generation Marine leisure) は、2019年の5月に行われた高専ワイヤレスIoT技術実証コンテストの5G活用部門の成果発表会に出場しました。5G活用部門は、第5世代移動通信システム(5G)の特性を生かした技術で、地域課題の解決や新たなサービス創出を図るアイデアを考え、技術実証を行う部門でした。本コンテストで私達は、マリレジャーをより楽しくすることで、沖縄の観光産業を活性化させることを目標に、ダイバーのゴーグル上にAR表示で、魚の名前や危険生物、安全に関わる情報を表示するシステムを考案しました。システム内容は、ダイバーと陸上のダイビングセンターを5G回線を介し接続することで、ダイバーに装着したカメラから得られる魚の動画をダイビングセンターでAIを用いて画像認識し、ダイバーのゴーグル上に表示するというものです。技術実証の成果として、陸上での実証実験で、ダイバーに人気の12種類の熱帯魚をAIで判別し、ダイバーのゴーグル上にリアルタイムで魚の名前をAR表示することが出来ました。結果、私達 NGM は最優秀賞を受賞することができ、本科卒業をしたチームメンバーとの頑張りが報われた気がしてとても嬉しかったです。本コンテストへの出場にあたって、企業の方と連絡を取り合いながらのスケジュール管理や、大勢の一般の方の前でプレゼン発表をするなど初めての経験が多く、大変ではありましたが、私達の成長の糧となる大きな財産となりました。今後は、今回の受賞で胡坐をかかず、努力していきたいと思えます。



地域の課題をアイデアと技術で解決！ 「社会実装コンテストへ向けての取組み」

創造システム工学専攻 電子通信システム工学コース2年 長濱 嗣志

私たちのチームは歌三線の技能伝承システムを開発して発表しました。この研究はディープラーニングを用いて歌三線熟練者の歌声を学習させ、歌三線における歌唱技能を定量化するシステムです。本科5年生の時から取り組んできた研究で、初めはディープラーニングや歌三線について詳しくわからず、手探りな状態でした。今回システムのプロトタイプを作製して発表した結果、社会実装賞という賞を頂き大変嬉しく思います。沖縄県立芸術大学でのフィードバックを受け、コンテストでも意見やアドバイスを頂いたのをそれらを反映させ、システムの改善を図りたいと考えています。このシステムを教育現場に学習教材として提供すれば、AIによる歌三線の学習支援を実施出来るものと期待できます。また、将来的には歌三線向け歌唱アプリや歌三線風ボーカロイドの開発等、様々な応用、発展が期待でき、伝統文化の継承、発展に寄与できたらと考えています。コンテストに参加し、他のチームの発表をみて勉強になったこともたくさんありましたので今後の研究活動に活かしたいと思います。最後に、ご指導頂いた先生方、協力して頂いた沖縄県立芸術大学の方々、誠にありがとうございました。



地域の課題解決に取り組む



創造システム工学実験（専攻科 1 年生対象）の課題のひとつとして、今年度は名護市の羽地地区の御協力のもと、「地域課題解決型プログラム」が実施されました。

前年度から各区長に「地域の課題」のアンケートに御回答頂き、それをもとに地域コーディネーターの当山昌治氏が現地で御説明くださいました。



（羽地地区の課題を学ぶ 中央：当山昌治氏）

羽地の課題を解決しようと名乗りをあげた学生たちは「Team HNZ」を結成し、「台湾ハブの捕獲」問題に取り組んできました。

名護市の環境対策課ならびに沖縄県衛生環境研究所（通称 ハブ研）の皆様にも御協力と御指導を仰ぎながら、6月の中間発表、8月の最終発表を羽地区長会にて発表することができました。区長の方々からも多くの御助言と励ましのお言葉を頂きました。

関係する皆様方には心より感謝申し上げます。



（沖縄県衛生環境研究所でハブについて学ぶ）



（羽地区長会で発表に臨む）

オープンキャンパス・学校説明会・数学対策講座

広報センター学生グループ

広報センター学生グループ
情報通信システム工学科
冷水 晴香

学校説明会では、中学生の緊張感が伝わってきます。ですが、質疑応答の時間になると恥ずかしくて質問できなかったという子が多くいました。「そんなもったいない！」と学生の声から、学校行事の写真をスライドショーで流して、それについて学生がコメントや最近あった出来事を話す『学生漫談』を提案することで、中学生の緊張もほぐれ、質問と笑顔が絶えない会場になり、提案した側として嬉しい気持ちでいっぱいでした。

オープンキャンパスには、幼稚園生～中学生までと好奇心旺盛な子達が参加するので、私達は補助として、小さい子達でも理解・完成できるようにサポートをしています。途中、思い通りに動かないなどで子供たちも一生懸命なのですが、私達も、答えをすぐに言わずにどうやったら気づいてくれるか、口が滑らないように一生懸命です（笑）。ゴールまで辿り着けたときの達成感を共有できるのが醍醐味だと思っています。

高専受験希望の子達が数学対策講座を受講するので、私達も取り扱う問題をさらいます。難問題が多く、論理的に中学生に教えるためには…と結構な時間悩みます。放課後、皆で集まって問題を解き合っていたりもして、受験は何年か前のことですが、若返った気分でしたね（笑）。受講してくれた皆のモチベーションに繋がって欲しいですね。



オープンキャンパス&サマースクール開催のお礼

今年度も7月27日（土）にオープンキャンパスを、8月24日（土）にサマースクールを開催しました。オープンキャンパスでは、1,100人を超える多くの方々に沖縄高専で学べるいろいろな教育プログラムや科学技術、研究、課外活動について体験して頂きました。オープンキャンパスでは、たくさんの学生が小・中学生とその保護者に丁寧に専門分野や高専で学んでいることを伝えてくれていました。高専生は、とても説明が上手くて、皆さんにびっくりされています。また、包括協定を締結しているJTA様の参加による「航空関連の仕事を知る」体験プログラムなども行われました。航空関連の仕事の紹介では、卒業生の先輩方が手伝いに駆けつけて下さいました。

サマースクールも多くの中学生在、体験授業に参加してくれました。先生方や学生達が専門の内容を中学生に熱く語っている姿がとても印象的でした。今年度初の試みとなったPBLの体験授業でも学生がファシリテータ役として大活躍してくれました。本校で学ぶことや実験・実習がどのようなものなのか、中学生に伝わったようです。

これからも本校の教育・研究・地域貢献について地域のみなさまに理解を深めていただきたく、教職員力を合わせて教育活動を推進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



沖縄高専で活躍している 卒業生



こんにちは、生物資源工学科3期卒業生の上江洲賢伍です。

私は、生物資源工学科を2011年に卒業してサントリープロダクツ株式会社に就職し、群馬県渋川市の榛名工場で飲料製造に携わっていました。

社内では日本で一番製造量が多い工場でしたので、在籍していた2011年～2016年の5年間では間違いなく日本で一番「伊右衛門」や「サントリー烏龍茶」を造っていた男になります。また、私が在籍していたラインは「実験ライン」と呼ばれていて、新商品の生産実験とその初生産が行われていましたので、毎日が勉強という言葉がピッタリな成長し続ける職場でした。

そして、2016年結婚を機に沖縄へUターン、2018年より沖縄高専事務部総務課施設係に転職し、現在に至ります。

5年間も過ごした思い出ある母校で働くということは、経験したこともない不思議な感覚を覚えます。

お世話になった先生から仕事のお願いをされて頼られること・入だけで緊張していた事務室に自分の席があること・逆に学生と距離を感じたりすること・懐かしい風景・挙げればきりがありませんが、仕事と思い出との中で、頭が大人と学生を行ったり来たりしています。

しかしながら、仕事には良い影響があるようです。

学生時代はどうか単位を貰うために恥もなく先生方に120度のお辞儀をお願いをしていましたが、事務部に身を置くことで、なかなか単位が取れない学生のため、その陰で頑張る多くの教職員の方々を見てからは、感謝と恥ずかしさで一杯になり、なんとか恩返しをしたいと考え必死になりました。

今は、自分の経験を活かしながら沖縄高専の建物がより安心安全になるよう真剣に、だけど楽しみながら一生懸命働いております。

そんな私から、在校生・卒業生の皆様に伝えたいことがあります。沖縄高専で沢山の思い出と、深い人との繋がりをつくってほしいということ。そして、ここで得た繋がりには卒業しても役立つということです。

人間生きていけば辛い壁にぶち当たることは何度もあると思いますが、学びや経験だけでなく人との繋がりが悩みを根本からあっさり解決することも、何度もあります。在校生・卒業生・教職員の繋がりが強いのは若い沖縄高専の素晴らしい特徴・文化だと思いますので、ぜひ活用してみてください。

最後になりますが、沖縄高専がより楽しく、人生に役立つ学校になるよう皆様のご協力、どうぞよろしくお願い致します。





現在、事務部学生課寮務係に勤めております。生物資源工学科 3 期卒業生の糸洲佑紀と申します。

私は、5 年間沖縄高専で過ごしたあと、5 年半後に職員として採用され、現在 3 年目を迎えました。

学生時代は発酵関係や農芸化学関係の仕事に就きたいなあなどと思いながら過ごしていましたが、人生というものはわからないもので、現在は寮務係として学生寮に関する事務業務に追われる日々を送っております。

今の仕事では、学生時代に沖縄高専で学んだ専門知識を活用することはありませんが、沖縄高専で学んだのは、ただ単に専門知識だけでなく、それを学ぶ課程の中で集中力・思考力・応用力等も確実に培われており、それらは日々の様々な業務の中で私を助けてくれていると感じます。

私に限らず、沖縄高専を卒業した後の大学や就職先で、例えば別分野の勉強を始めたり、まったく違った仕事を任されたりした際にも躓くことなく、学んできた以外のジャンルに挑戦し、活躍している卒業生が多くいます。これも沖縄高専で鍛えられた経験による賜物なのだと思います。

個人的には、やろうと思えば何でも出来るポテンシャルを秘めているのが高専生なのだと思います。その素質をより良く育むためにも、沖縄高専での学生生活を通して、専門知識のみならず、一般教養やコミュニケーション能力等を存分に育み、将来の資金源としてくれればと思います。

と、何だかエラそうな事を書かせて頂きましたが、私はそこまでしっかりした学生ではありませんでしたし、現在もまだまだ未熟者ではありますが、私なりに皆様のご活躍を応援して行ければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



左から、生物資源工学科・技術職員・富山瑛子（3 期・生物）、生物資源工学科・職員・上江洲賢伍（3 期・生物）、情報通信システム工学科・助教・亀濱博紀さん（1 期・情報）、生物資源工学科・助教・萩野航（3 期・生物）、生物資源工学科・職員・糸洲佑紀（3 期・生物）

学校行事

令和元年度 学年暦

(平成31年)
2019

4

- 4/1(月) … 学年及び前学期開始
- 4/2(火) … 入学式
- 4/3(水) … 新入生オリエンテーション
- 4/4(木)～4/5(金) … 健康診断
- 4/8(月) … 全学年授業開始
- 4/10(水) … 開校記念日
- 4/26(金) … スポーツイベント(旧: 体育祭)
- 4/28(日) … 進学相談会及び学校説明会(宮古)

(令和元年)
2019

5

- 5/12(日) … 進学相談会及び学校説明会(うるま市)
- 5/18(土) … 入学者選抜試験(専攻科推薦選抜)
- 5/19(日) … 進学相談会及び学校説明会(那覇)
- 5/25(土) … 進学相談会及び学校説明会(石垣)

6

- 6/6(木)～6/7(金) … 前学期中間試験
- 6/15(土) … 入学者選抜試験(専攻科学力選抜)
- 6/16(日) … 進学相談会及び学校説明会(那覇)
- 6/24(月)～6/28(金) … 公開授業週間

7

- 7/12(金)～7/21(日) … 九州沖縄地区高専体育大会
- 7/22(月)～7/26(金) … 公開授業週間
- 7/27(土) … オープンキャンパス・寮見学ツアー

8

- 8/8(木)～8/14(水) … 前学期期末試験
- 8/24(土) … サマースクール
- 8/26(月)～9/20(金) … 夏季休講

9

- 9/24(火) … 後学期授業開始
- 9/28(土) … 進学相談会・寮見学ツアー

10

- 10/6(日) … 学校説明会(那覇)
- 10/13(日) … ロボコン九州沖縄地区大会
- 10/26(土)～10/27(日) … 高専祭

11

- 11/19(火)～11/20(水) … 後学期中間試験

12

- 12/23(月)～1/3(金) … 冬季休講

(令和2年)
2020

1

- 1/18(土) … 入学者選抜試験(本科推薦選抜)

2

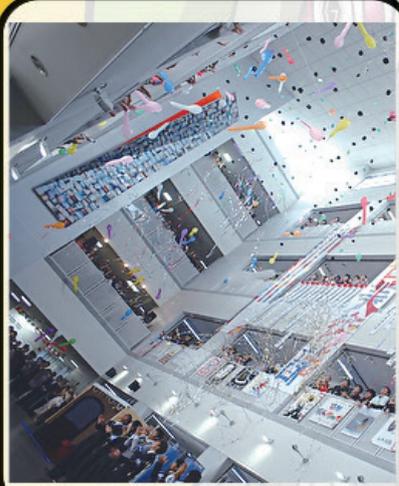
- 2/7(金)～2/14(金) … 後学期期末試験
- 2/16(日) … 入学者選抜試験(本科学力選抜)
- 2/25(火)～3/31(火) … 学年末休講

3

- 3/31(火) … 学年及び後学期終了

※色の付いている行事は、どなたでも参加可能です。(但し、サマースクールは中学生を優先いたします。)

高専らしくをあたらしく



沖縄高専祭

15TH OKINAWA KOSEN FESTIVAL

2019 10.26 [9:30 - 18:00]
10.27 [9:30 - 15:00]

